

平成28年度自主文化事業実施報告書

1 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者
【総合】 ワンコインリレーコンサート	5月4日 6月9日 10月6日 12月19日 2月15日	水・祝 木 木 月 水	iichiko 音の泉ホール	実力のある素晴らしい演奏家たちの音や技を低価格(500円)で楽しんでもらい、芸術文化の素晴らしさを気軽に感じてもらうコンサート。平日昼間に、様々なジャンルの音楽に親しんでいただいた。 ① ピアノ ② バンドネオン ③ ギター ④ ソプラノ ⑤ ハープ	①581 ②633 ③479 ④359 ⑤520
【オーケストラ】 九州交響楽団 大分公演	7月30日	土	iichiko グランシアタ	九州交響楽団の定期公演をそのまま大分に持ち込んでのコンサート。ドイツの劇場での指揮者・音楽監督を長く務める上岡敏之を指揮者に迎え、バッハ、モーツァルト、ブラームスを『ゲルマン音楽の世界』と題し演奏。上岡のタクトに導かれたオーケストラの響きに、会場は酔いしれ、聴衆の喝采を浴びた。	825
【オペラ】 セビリアの理髪師	9月9日	金	iichiko グランシアタ	日生劇場制作のオペラ「セビリアの理髪師」をニッセイ文化振興財団の援助を受け、地元中高校生を招待して上演した。オペラ初体験の生徒が多かったが、事前にDVD等で学習してもらい、当日は良好に鑑賞していただき、コミカルな部分では大いに盛り上がっていた。後日の感想文でも、歌手の歌声や大がかりな舞台装置などに感動したなど記載されていた。	1,700
【伝統芸能】 iichiko presents 松竹大歌舞伎 大分公演 「獨道中五十三次」	10月12日	水	iichiko グランシアタ	毎年根強い人気のある歌舞伎公演を昼夜2回行い、猿之助、巳之助ほか、実力のある出演者が、宙乗り、早変わりと見せ場の多い演目で、昼夜ともほぼ満席の状態であった。期待以上の充実した内容に、多くの観客から評判が高く、初めて歌舞伎を見た小学生からも「おもしろかった」との意見をいただいた。また、随所に大分関係の台詞が取り入れられ、喝采をあげていた。	2,196
【室内楽】 サティをめぐる音楽と絵画 福岡洗太郎(ピアニスト)	11月19日	土	iichiko 音の泉ホール	美術館との連携企画で、今年生誕150年を迎えるエリック・サティに焦点を当て、ピアノを楽しむと共に、当時・リで制作された絵画も同時に楽しむ企画。まず、加藤康彦美術館副館長からシャガールなど3点の絵画を掲示し、講話を行った。その後、福岡洗太郎氏のピアノ演奏で、サティ等の楽曲に加え、シャンソンの名曲も奏でられ、洒落れたコンサートとなり、観客の多くから賛同を受けた。	344
【室内楽】 ベートーベン 弦楽四重奏全曲演奏会 第1夜 (ウェールズ弦楽四重奏団)	1月18日	水	iichiko 音の泉ホール	ベートーベンの16曲の弦楽四重奏曲を5年間で全曲演奏する企画で、第1夜として第2、4、12番の3曲を演奏した。ウェールズ弦楽四重奏団の演奏で、オーケストラの首席奏者等として活躍しながら、弦楽四重奏団としても10年のキャリアを持つ。四重奏は、各人の技量が必要であると共に、4人が複層的に絡み合うアンサンブルが魅力。充実した演奏内容に満足したとの感想を多くいただいた。	274
【オペラ】 青島広志のおしゃべりオペラティックコンサート (大分会場) (中津会場)	2月6日 2月7日	月 火	iichiko 音の泉ホール 中津文化会館 大ホール	オペラ「魔笛」公演の導入としてのレクチャー事業。青島広志氏の軽妙なおしゃべりとピアノに、3人の歌手が加わり、オペラの筋骨きに沿って、注目のアリアを聴いていただいた。青島氏のウィットに富んだ解説がわかりやすいと評判であり、今回は聴衆の皆さんと一緒に歌う場面もあり、会場が盛り上がった。今年も、大分と中津の2会場での公演となった。	444 640
【オペラ】 魔笛	3月11日	土	iichiko グランシアタ	今年度最大の事業として、神奈川県民ホール、東京二期会等との共同制作公演。演出・装置・照明・衣装を舞踏家、現代美術作家である勅使河原三郎が努め、舞台上は真っ暗な背景に、10の大中小のリングが浮かび、角度・向きを変え照明を浴びることで様々なシーンを表現する独創的な演出であった。日本語ナレーションにより進行したことも、分かりやすいと評判であった。	1,042
【ミュージカル】 OITA BROADWAY MUSICAL THEATER	3月20日	水	iichiko 音の泉ホール	出演は、公募による小学校1年生から70歳までの一般参加者約80人で、約7か月間、夢の舞台を目標に、歌、ダンス、演技を稽古に稽古を積み重ねたものであった。ミュージカルの名曲に乗せて、早変わり次から次へと舞台転換しながら、最高のパフォーマンスを見せてくれ、会場も盛り上がった。演奏面でも、地元演奏者10人がオーケストラを組み、生演奏でステージに躍動感、迫力を加えた。	640
【オーケストラ】 iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第8回定期演奏会	3月26日	日	iichiko グランシアタ	ホール付きのオーケストラとして平成21年に結成され、今回8回目の演奏会を迎えた。小学校3年生から22歳までの団員76人が、1年間かかって創り上げた成果を披露した。特に「ペール・ギュント」は、物語の展開と音楽の関係性がわかりやすかったと評価が高かった。加えて、開演前にアカデミッククラスの子どもたちが、ロビーコンサートを開催し、日ごろの練習の成果を聴いていただいた。	973

2 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(共催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者
第18回別府アルゲリッチ音楽祭 アルゲリッチ&レーピン室内楽コンサート (主催:財団法人アルゲリッチ芸術振興財団)	5月14日	土	iichiko グランシアタ	ヴァイオリンのワディム・レーピンを迎え、総監督マルタ・アルゲリッチと共演し、プロコフィエフやベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタを演奏した。	1,816
オペラ「ラ・ボエーム」 (主催:OBS大分放送)	6月22日	水	iichiko グランシアタ	若手オペラ歌手の登竜門である劇場を母体にしたローマ・イタリア歌劇団によるオペラ公演。本場オーケストラの重厚な響きに支えられ、実力のある歌手たちの伸びやかな歌声により、プッチーニの純愛オペラが演じられた。	700
第18回大分県民芸術文化祭開幕行事 喜歌劇「こうもり」 (主催:大分二期会)	10月1・2日	土・日	iichiko グランシアタ	大分出身者を中心にした配役、オーケストラ演奏も地元で担い、これらをよくまとめ上げて、喜歌劇らしい楽しく親しみやすい舞台を作り上げていた。これに石丸謙二郎さんの軽妙なトークが加わり、聴衆から大きな拍手をいただいていた。	1,369
芸短フェスタ2016 オペラガラコンサート “ウィーン国立歌劇場元専属歌手を迎えて” (主催:大分県立芸術文化短期大学)	12月9日	金	iichiko 音の泉ホール	ウィーン国立歌劇場専属歌手を努め、二期会で活躍する二人の歌手、佐々木典子(Sop・東京藝大教授)と甲斐栄次郎(Bar・東京藝大准教授)を迎え、これに、短大の3人の声楽教員が加わって、オペラ名場面を披露。2人の抜群の歌唱力に、教員3人が加わって、舞台シーンの楽しい掛け合いが練り広げられ、まさしくウィーンの風が感じられるステージとなった。	361
大分県立芸術文化短期大学事業 (主催:大分県立芸術文化短期大学)	通年	—	iichiko 音の泉ホール iichiko グランシアタ	県立芸術文化短期大学が主催する定期演奏会、修了・卒業演奏会、音楽科コンサートシリーズ等の演奏会を開催した。	—

3 人材育成事業「普及啓発事業:人を育て活かす」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者参加者等
歌舞伎レクチャー	9月4日	日	映像小ホール	10月に開催される松竹大歌舞伎に先立ち、古典芸能評論家の葛西聖司氏が歌舞伎界における家系の解説をはじめ、演目の見所、聴き所を解説した。	1部:72 2部:70
オペラレクチャー	10月22日 12月17日 2月25日	土 土 土	映像小ホール 喫茶 茶王 ナンドホール	3月11日開催のオペラ「魔笛」に関するレクチャーを、中山欽吾館長を講師に、コーヒー&ケーキをいただきながら、気軽に参加してもらうための取組。中山欽吾館長のスライドを交えた、分かりやすい解説とコーヒー&ケーキを食べながらの気軽さから、多くの会話が生まれ、オペラに興味湧き本公演が楽しみという声が上がった。	①27 ②28 ③50
図書館講座「オペラを楽しもう」 映画講座「魔笛」「AMADEUS」	2月19日 3月4日	日 土	県立図書館 映像小ホール	県立図書館と連携して、オペラの啓発講座を職員2人が講師となり、実施。オペラの基本的知識から、「魔笛」のあらすじを人形芝居で見せたり、アリアの楽しみ方までビデオも交えながら話を行った。映画鑑賞会では、「魔笛」(2006年作品ケネス・ブラナー監督)と「AMADEUS」(1984年作品)を2回ずつ放映。初回上映時は、ほぼ満席になるほど関心は高く、オペラの筋立てやモーツァルトの制作経緯が理解でき、オペラの鑑賞に役立ったと評価をいただいた。	①50 ②102
アトリウム遊園地	9月10日	土	アトリウム	「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、アトリウムを会場に実施し、多くの親子連れが集まり、大盛況であった。メインステージでは、クラシックコンサートやミュージカル体験、フラフープ演技などが展開され、体験時には長い列ができた。手作りおもちゃコーナーや県産材を活用した積み木(木育)コーナー、美術館企画の動物ごっこなりきり隊なども、盛況であった。	2,000
舞台メイク・ワークショップ(歌舞伎編) 同 (宝塚編)	9月18日 9月26日	土	iichiko スペース・ビ リハーサル室	前者は「隈取(くまどり)」をはじめとする歌舞伎の特徴的な化粧法について松竹より歌舞伎俳優を迎え、後者は宝塚をはじめとする舞台で映える特徴的な化粧法について元宝塚歌劇女優である華月由舞さんを迎え、いずれも実演に即して解説しながら実施した。両日とも、日頃見ることのない化粧を間近に体験できたと、非常に好評であった。	①47 ②72
ミュージカル体験ワークショップ	7月27日 ~31日		iichiko スペース・ビ リハーサル室ほか	ミュージカルを観るだけでなく、実際にやってみたい方、歌の好きな方、ダンスの好きな方を対象に、第一線で舞台を創作している指導者のレッスンを受講し、希望者は人前での発表も経験した。ミュージカルという芸術文化のキッカケ作り、舞台に立つ夢を支援した。 (参加人数 小学生低学年53人、小学生高学年36人、中高大学生33人、一般26人)	148
Touch The Japanese Culture 邦楽のススメ! 日本舞踊	1月9日 1月9日 1月10日	日 土 木	杵築市商工会館 iichiko音の泉ホール 舞台上 国東中学校	花柳基氏を中心に4人の舞踏家を招いて、舞踊の歴史や振りの解説を弟子の実演を交えながら行った後、体験として基本的な所作から長唄「潮来出島」の一部を踊れるまで指導を行った。最後は、基氏と静久郎氏による「連獅子」を披露し、大きな拍手があった。参加者も体験できたことと基氏の素晴らしい舞踊を間近にできたことで評価が高かった。	①52 ②99 ③60
iichiko総合文化センター アウトリーチプログラム	6月28日 7月7日 8月6日 8月19日 9月10日 9月16日 9月23日 9月26日 10月5日 10月21日 10月31日 11月7日 11月8日 12月9日 12月13日 1月18日 1月20日 3月4日		各学校・施設	日頃クラシック音楽に触れることの少ない人々に、オーディションを通過し、研修を終えた大分県にゆかりのある若手演奏家を派遣し、生のクラシック音楽とその魅力をお届けした。 ①竹田市/医療法人雄仁会 加藤病院 ②杵築市/特別養護老人ホーム 菩提樹 ③大分市/高田公民館 東陽中学校の生徒と地元住民 ④大分市/デイサービスセンター「天神ヴィラ」 ⑤大分市/iichiko総合文化センター アトリウム遊園地 ⑥大分市/南部公民館 幼児とお母さん親子を対象 ⑦中津市/小楠コミュニティセンター 幼児とお母さん ⑧杵築市山香町/高齢者施設 太陽の家 広寿苑 ⑨佐伯市/大入島小学校 ⑩日田市/日隈小学校 2公演 ⑪由布市挾間町/特別養護老人ホーム「若葉苑」 ⑫大分市/ケアマンションはなぞの ⑬日田市/小野小学校 ⑭国東市/武蔵中学校 ⑮由布市庄内町/養護老人ホーム寿楽苑 ⑯宇佐市/軽費老人ホーム「ケアハウス光」 ⑰国東市/国東小学校 ⑱日田市/天瀬公民館	①160 ②60 ③60 ④50 ⑤— ⑥100 ⑦70 ⑧30 ⑨20 ⑩257 ⑪40 ⑫70 ⑬50 ⑭50 ⑮50 ⑯50 ⑰20 ⑱30 合計1,497人
エモスタッフ育成事業	8月21日 2月10日 2月16日	日 金 木	iichikoグランシアタ 他	開館当初より当センターには、ホール・レセプションのボランティア「エモスタッフ」が活躍している。お客様に満足していただけるように「エモスタッフ」に対して、ホール・レセプションとしての心構え・実技を取得する様々な研修を行った。 ①他施設見学 ②オペラ講座 ③ブラッシュアップ研修	①20 ②15 ③23